

昨年秋に1年生を対象として面接コンテストを実施しましたが、今年度はその発展として、2年生を対象に「集団討論コンテスト」を行いました。冬休み明けの1月13日から3週にわたり、段階的に取り組みを進めました。



第1回(1月13日)はガイダンスとして、集団討論を行う際の注意点やテーマの種類について学習しました。その後、5人1組のチームに分かれて実際に討論練習を行いました。テーマは「これからの社会で必要がなくなる力は何か」です。最初は沈黙が続くチームも見られましたが、次第に意見が出るようになり、話し合いの難しさと面白さを体験しました。

今回のコンテストでは、昨年度の面接コンテストと同様に、生徒同士で互いの討論を審査する方法を取り入れました。審査項目は、①集団討論への貢献度と意見表明、②論理的思考と適切な根拠の提示、③コミュニケーションと協力能力、④プレゼンテーションスキルと表現力、⑤議論の理解力と他者意見の活用の5項目です。これらの観点をもとに、自分たちの討論を振り返りました。

第2回(1月20日)は、いよいよコンテスト形式での討論を実施しました。討論を行うチームと審査を行うチームに分かれ、15分間の討論を行いました。最初のテーマは「次の2つのうち、これからの社会でより重要になるのはどちらか。A:専門性を1つ深く極める力 B:複数の分野を横断的につなぐ力」です。続いて、チームを入れ替え、「次の4つの力の中から、これからの社会で最も優先すべきものを1つ選び、理由を説明せよ。A:コミュニケーション力 B:論理的に考える力 C:新しいことに挑戦する力 D:他者と協力する力」というテーマで討論を行いました。討論後は各チームで振り返りを行い、第3回に向けた改善点を話し合いました。

第3回(1月27日)は最終日です。テーマは「これからの社会において、リーダーに最も求められる資質は何か」と「これからの社会において、人と接するとき最も大切にしたい姿勢や考え方は何か」の2つでした。これまでの経験を生かし、どのチームも前回よりも意見の出し方やまとめ方が上達しており、討論の質が大きく向上していました。討論終了後は、相互審査の結果を集計し、「集団討論マスター」のチームを決定しました。

活動後の振り返りでは、生徒から次のような感想が寄せられました。

「相手の意見を聞き、自分の考えと結びつけることの大切さが分かった」

「沈黙が多かったが、最後は意見を出し合い、納得できる結論にまとめられた」

「さまざまな視点から物事を考える力の重要性を実感した」

「条件を絞ることで議論が進めやすくなると分かった」

「小さな意見でも話し合いを広げるきっかけになると気づいた」

「リーダーとして意見をまとめる難しさを知った」

回数を重ねるごとに、抽象的なテーマを具体的な場面に落とし込み、互いの意見を尊重しながら結論を導く姿が見られるようになりました。来年度はいよいよ受験学年となります。今回の集団討論コンテストで身につけた「考える力」「伝える力」「協力する力」を、進路実現に向けて生かしていくことを期待しています。

